

第 128 号

編集・発行

2021・1・19

社会福祉法人
三戸町社会福祉協議会

〒039-0132

三戸町大字在府小路町 17

TEL:0179(22)0262

FAX:0179(23)4146

さんのへ 社協だより

令和 3 年 新年号

住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせるような福祉社会をめざしてがんばります!!



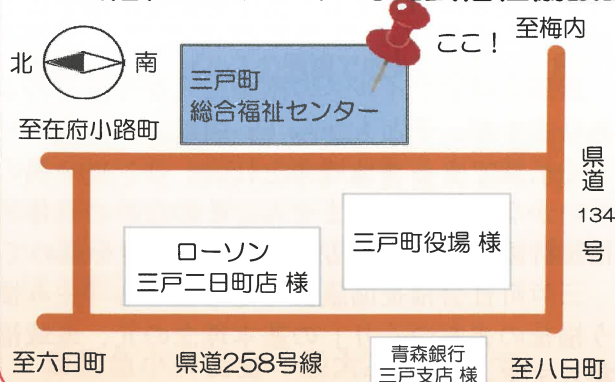
お子さんの健やかな成長を願って助成金を贈呈しました(乳幼児紙おむつ等購入費助成事業)

■ おもな 内容

ページ

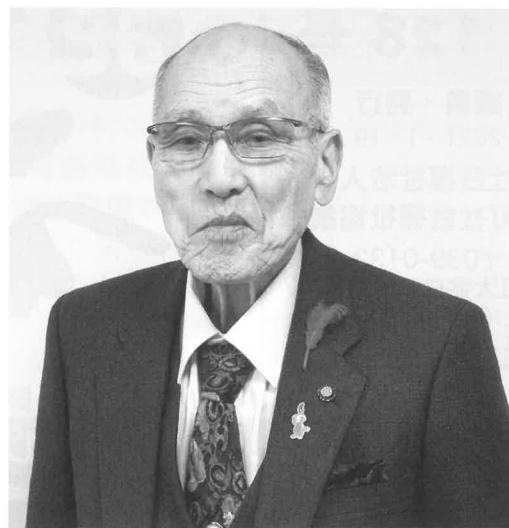
- 新年のごあいさつ 2
- 子どもほのぼの交流員の取り組み 3
- 消費者フォーラム in 三戸 4
憩いの森あすもこっのクリスマス会
- 子ども福祉スクール 5
各種お知らせ
- 令和2年度社会福祉大会受賞者の紹介 6

社会福祉法人 三戸町社会福祉協議会



この社協だよりは、県共同募金会からの配分金と社協会費を使わせていただいております。

令和3年 新年のごあいさつ



三戸町社会福祉協議会
会長 関向 文男

新年あけましておめでとうございます。

令和3年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より地域福祉事業の推進に深いご理解と温かいご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、皆様もご承知の通り、昨年は新型コロナウイルス感染症が世界中に脅威をもたらした一年でありました。医療現場の切迫や飲食観光業者をはじめとした経済全体への打撃は深刻で、新型コロナウイルスの影響で収入が減少した世帯に対する生活福祉資金は昨年11月末時点で、全国で約133万件、5,102億円あまりの貸付がなされております。同じく経済に大きな影響を及ぼした2008年のリーマンショック後、3年間の貸付件数が約20万件でありますので、このことから非常に多くの世帯が深刻な影響を受けたことがお分かりいただけると思います。

また、ふれあいサロンやオレンジカフェといった「人と人とのつながり」を作る事業は、感染リスクを完全には排除できないことから、全国的に実施が困難な状況が続いております。こうした「地域の居場所」が無くなると、家に閉じこもりがちになり、結果的に認知症の進行や福祉課題の発見の遅れにもつながり、コロナ禍においてどのように人と人とのつながりを作っていくのかが大きな課題となっています。

このような中で、厚生労働省では昨年12月に閣議決定された「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」に基づき生活福祉資金の受付期間を延長することを決定し、全国社会福祉協議会を通じて当協議会を含む全国の市町村社会福祉協議会に通達がなされており、サロン事業等についても、医学的知見が深まってきたことにより再開に向けたガイドライン等も充実しつつあります。

新型コロナウイルスの感染拡大が今後どのように推移していくか、見通しが立たないなかではありますが、子どもから65歳以上のシルバー世代、その誰もが地域でいきがいをもち、自分らしく活躍できる「地域共生社会」はコロナ禍のいまだからこそ、実現に向けて取り組みを強化していかなければなりません。そのための具体的な指針として、現在三戸町と協働で「三戸町地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定を進めているところであります。

三戸町社会福祉協議会では今後とも「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる、心の通い合う福祉のまちづくり」の基本理念の元、地域福祉の一層の向上に役職員一丸となって取り組んで参ります。

結びに、皆様にとりまして、本年が健康で幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

子どもほのぼの交流員の取り組み

令和2年11月26日(木)に子どもほのぼの交流会を開催し、三戸小学校4年生児童58名が地域の高齢者8名をゲームや演奏でおもてなしをしました。

■ガイダンス 11月11日(水)



～子どもほのぼの交流員とは～

社協では地域の高齢者等を見守る「ほのぼの見守りネットワーク事業」を平成7年からボランティア(ほのぼの交流協力員)の皆さんの協力の下で実施しています。

子どもほのぼの交流員は、ほのぼの交流協力員の”子ども版”として平成13年にスタート。福祉の心を育てることを目的に毎年、高齢者との交流を行っています。



ガイダンスでは三戸町の少子高齢化の現状や高齢者との接し方を学び、来てくれる高齢者を喜ばせるアイデアを出し合いました。
出し合ったアイデアをより良い形で実現するため、交流会まで2週間かけて準備と練習を頑張りました。

■交流会 11月26日(木)



楽器演奏を聴く様子。このあと高齢者もカスタネットで演奏に参加しました



ゲームの合間に楽しくおしゃべり。好きなご飯、昔やっていたスポーツ。話題は尽きません



手作りの輪投げ。座ったままで楽しめる親切設計です

コロナ禍での実施となった、今年度の子どもほのぼの交流会は、マスクの着用をはじめとした、いわゆる「基本的な感染予防策」を徹底して行いました。

マスクの着用で表情が伝わりにくいのですが、当日は笑顔と歓声の絶えない非常に明るい雰囲気でありました。

児童の皆さんは、色々な制限があるなかで、創意工夫を凝らして素晴らしい交流会を作り上げてくれました。ご指導いただいた先生方、関係者の皆様はこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

消費者フォーラムin三戸が開催されました

令和2年12月2日(水)、ジョイワーク三戸において青森県消費生活センター主催の「消費者フォーラムin三戸」が開催され、参加者と関係者併せて60人が消費者問題について学びを深めました。

このフォーラムは詐欺などの被害に遭わない、消費者トラブルのない安全・安心なまちづくりを目的に毎年県内各地で開催されており、今年度は三戸町での開催となりました。

当日は元消費者庁長官で、現在(一社)消費者市民社会をつくる会代表理事の阿南久氏による基調講演のほか、町内5団体で構成された実行委員会による、三戸町における消費関連問題に関する発表が行われ、実行委員である三戸町社会福祉協議会会長と三戸町老人クラブ連合会会長が取り組みに関する発表を行いました。



講師の阿南久氏 コロナ危機を乗り越える
“かしこい消費”をテーマに講演



食品ロス削減につながるフードバンク事業等
について発表する社協関向会長

憩いの森あすもこっでクリスマス会を開催

令和2年12月24日(木)、地域活動支援センター憩いの森あすもこっでクリスマス会を開催し、通所者5名が、レクリエーション等でクリスマスを楽しみました。

新型コロナウイルスの影響で、作品の出版を予定していた行事もその多くが中止となり、通所者も「今年は何も(イベントが)ないねえ」と寂しげにしていたところでしたので、久しぶりに明るく楽しい笑顔が戻った1日となりました。



レクリエーションを楽しむ様子。施設内の飾りつけや、当日作るカレーの材料を準備したりと、この日のために準備してきました

■地域活動支援センターについて

活動地域支援センターは、障害者総合支援法に基づき「障がいがある方の日常の活動をサポートする機関」です。創作、生産活動、地域交流などを通じて、障がいのある方の地域での生活を支援しています。

■憩いの森あすもこっについて

勤労青少年ホーム(川守田関根4-1)の2階で毎月曜日から金曜日まで開設しており、現在7名が通所しています。

通所者はお菓子やせっけん、布製品などの製作や農作業、公衆トイレの清掃などの活動を楽しみながら行っています。

子ども福祉スクールを開催しました

令和2年11月19日(木)に子ども福祉スクールを開催し、三戸小学校3年生児童59名が疑似体験を通じて高齢者福祉を学びました。

児童は体験用のゴーグルと軍手を着用し、国語の教科書読みやプラスチック製貨幣を使った買い物、車椅子の乗車と介助を体験。

教科書読みでは読み慣れた教科書の文字が見えない・ページがめくれない、買い物体験では貨幣の判別がつかない・上手く掴めないと大苦戦。車椅子体験では乗る側も押す側もおっかなびっくりといった様子でした。

今回体験した3年生児童は来年4年生になると子どもほのぼの交流員となって地域の高齢者と交流を図ることになります。今回学んだこと、感じたことが来年の交流会で役立てられることを期待します。



買い物体験 品物を選び、値札の金額を見て、容器のお金を掴み、職員に支払います



車椅子体験 乗る人が不安にならないよう、声掛けをしながらパイロンの間を進みます

善 意 の 窓

ご寄附をいただいた皆様、ありがとうございました。(令和2年11月1日～令和2年12月31日まで)

寄附金の部

青森県市町村職員年金者連盟三八支部 様	5,000円
立正佼成会 八戸教会 三戸支部 様	10,000円
橋爪商事株式会社 様	10,000円
橋爪商事株式会社三戸支店 様	7,000円

物品の部

立正佼成会 八戸教会 三戸支部 様	米30kg
-------------------	-------

寄せられた善意は地域福祉活動のために使わせていただきます。

除雪ボランティア大募集!

社協では15cm以上の積雪時に、自力では雪かきが困難な高齢者世帯等の雪かきを行う除雪支援事業を実施しています。

しかし、除雪を必要とする世帯に対して、ボランティアの数がまだ足りていません。手助けが必要な方が安心して暮らすために、皆さまの力をお貸しください!

- 報酬: 1時間 1,000円(車両ガソリン代込)
- 応募資格: なし(年齢性別は問わず)

新型コロナウイルスの影響で収入が減少した方へ

現在、新型コロナウイルスの影響で収入が減少した方に対する資金の貸し付けを行っています。

おひとりやご家族だけで悩まず、まずはご相談ください。

- 緊急小口資金 最大20万円まで
- 総合支援資金 月額20万円×3ヶ月
- 申込期限 令和3年3月31日

令和2年度社会福祉大会受賞者のご紹介

新型コロナウイルスの感染拡大予防の観点から第49回三戸町社会福祉大会の開催を中止したことについて前号でお知らせしておりましたが、「青森県社会福祉大会」、「三戸郡社会福祉大会」も新型コロナウイルスの影響により今年度は開催が中止となりました。

受賞者の皆様はそれぞれの立場で多年に渡ってご活躍して来られた方々です。そのご功績に敬意と感謝の意を表してお名前をご紹介させていただくとともに、今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

第69回青森県社会福祉大会

※すべて敬称略、五十音順

社会福祉法人施設職員

中村 真紀子（三戸保育園）

社協役職員

江刺家 悦子 大森 美千代 小野 裕子 澁屋 精五 村中 慶子

第70回三戸郡社会福祉大会

社会福祉法人施設職員

原 理香（三戸保育園） 船木 梢絵（ミューズ保育園）

社協役職員

北上 綾子 手塚 栄利子

第49回三戸町社会福祉大会

民生委員児童委員／社協役員

藤村 立夫

ほのぼの交流協力員

佐藤 幸夫 杉沢 フヨ

寄附に対する感謝状の贈呈

箸木山町内会リサイクル（団体の部）

社会福祉法人施設職員

大道 希美（三戸保育園）

社会福祉団体

清水 敏子（三戸地区更生保護女性会）

船水 浩行（個人の部）

職 員 募 集

介護支援専門員（正職員）…2名

応募資格 介護支援専門員、普通自動車運転免許
勤務時間 8時間 8：15～17：00（休憩45分）
休 日 週休二日（年間休日数122日）
土曜日は交替制で日直業務あり
給 与 月給197,000円～216,000円（手当含）
別途、扶養手当、住宅手当、通勤手当有
賞 与 年2回（4ヶ月分※令和2年度実績）
福利厚生 社会保険、雇用保険、労災保険、退職金有

訪問介護員（常勤契約職員）…若干名

応募資格 介護福祉士または初任者研修修了者
普通自動車運転免許
勤務時間 7：00～23：00のうち8時間（シフト制）
休 日 週休二日（年間休日数122日）
給 与 月給178,000円～201,000円（処遇改善手当等含）
別途、扶養手当、住宅手当、通勤手当有
賞 与 年2回（3ヶ月分※前年度実績）
福利厚生 社会保険、雇用保険、労災保険、退職金有

訪問介護員（パート職員）…若干名

応募資格 介護福祉士又は初任者研修修了者
普通自動車運転免許
勤務時間 8：00～18：00のうち3～6時間、週3～4日程度
給 与 時給800円～1,000円
別途、処遇改善手当、通勤手当有
福利厚生 労災保険

■その他

マイカー通勤可、無料駐車場有

■申込及び応募方法

当協議会へ履歴書とハローワークからの紹介状をご持参ください。採用試験は書類選考後面接により随時行います。詳しくはハローワーク八戸、三戸町地域職業相談室（アップルドーム内）または当協議会担当者までお問い合わせください。

●お問い合わせ 三戸町社会福祉協議会まで TEL.22-0262 FAX.23-4146